

## 文書質問への回答書

<b>受付番号</b>	令和2年第4号
<b>提出議員</b>	中川勇議員（会派：尽誠）
<b>件名</b>	長浜文化スポーツ振興事業団代表者の民間人登用制度等について
<b>質問内容</b>	<p>長浜文化スポーツ振興事業団（以下「文スポ」という）は、平成24年から公益財団法人としてスタートし、従前と同様に市の文化・スポーツ施設の管理運営を担い、近年では指定管理者制度の団体として民間手法のメリットを活かし、その運営評価においても市の点検評価結果で経営状況「A」の評価を受けています。また、行政改革大綱において改革の方針とされている公共施設の維持管理、運営等に民間の経営能力等を活用したサービスの提供も実施されています。</p> <p>そうした中、過日ローカル紙において、文スポ理事長問題が記事掲載されましたがこの事とは視点を変えて、5月19日開催の市と文化・スポーツ関係団体との意見交換会での議論について、市の考え方を確認する意味で次の2点を問う。</p> <p>(1) 意見交換会では、文スポの代表者を民間人登用から行政代表者へ変更するような意見のやり取りがありましたが、市から経営状況「A」評価や、理事長の民間人登用は行革方針でもあり成功事例と考えます。一方、行政代表者が施設管理運営に関わったことでご苦労されている三セクの例もあります。</p> <p>市の基本的な考え方として、市の文化・スポーツ施設の管理運営等に関わっている文スポ代表者の民間人登用制度の何が問題なのか、お答えください。</p> <p>(2) 国民スポーツ大会等の開催に向けての体制については、文化面での情報発信の良い機会であることや、全市・全市民をあげて関係する団体等と連携を図り対応することは当然であり、オール長浜の組織体制（実行委員会等）でのトップについては、行政代表者（市長職）が最適と考えますが、その見解をお答えください。</p>
<b>回答部局</b>	市民協働部

## 【回答内容】

(1) 5月19日に文化・スポーツ関係団体の代表者に集まっていたいただき、①新型コロナウイルス感染症の小康期に向けて文化・スポーツ事業の再開について、②長浜市におけるこれからの文化・スポーツ、青少年健全育成のあり方について(2024年国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会に向けて)をテーマに意見交換会を開催しました。参加いただいた皆さんからは、「国スポ・障スポの開催に向けては、文化、スポーツ団体はもとより、あらゆる団体が官民一体となって取り組むべきであり、そのために市長にはリーダーシップを発揮して欲しい。」との多数のご意見をいただきましたが、長浜文化スポーツ振興事業団代表者の民間人登用制度の是非について、特段の議論はございませんでした。

なお、公益財団法人である長浜文化スポーツ振興事業団の代表理事(理事長)は、法令及び定款に定められた手続きにより、官民に関わらず適任者が選任されるものであると承知しています。

(2) 「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会」に向けては、本市においても、本年度から「国スポ・障スポ大会準備室」を設け、大会の準備等にあたっているところです。

また、本年11月頃を目途に、関係団体等で構成する「大会開催準備委員会」を立ち上げ、機運の醸成を図ってまいります。

大会の成功のためには、市民や関係団体、行政が一体となり、市民力を結集する必要があると考えており、オール長浜の組織体制については、前述の意見交換会で皆さんからいただいた「市長にはリーダーシップを発揮して欲しい。」とのご意見も踏まえ、しっかり取り組んでまいります。